

芸閣

～図書館だより～

第4号
2018年7月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書齋という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

文月のふみの日

郵政省では毎月23日を「ふみの日」として、手紙を書こうと呼びかけています。(「ふみ」とは、文字で書いたもの。文書、手紙などのことです。) 7月は古い呼び名のひとつとして「文月(ふみづき)」と呼ばれます。7月23日は「文月のふみの日」。

誰かに思いを伝えるとき、みなさんはどんな手段を使いますか。今はメールやSNSでしょうか。メールやSNSはすぐに思いが届けられます。本当に便利です。でも、手紙には思いが残ります。画面に並べられていく活字からは拾えない心が伝わります。行間にもあふれる感情があります。選んだ便せん、ペンの色、手書きの文字……。たまには、手紙を書いてみませんか。



～生徒図書充実委員会に参加して～

6月13日に今年も生徒図書充実委員会が開かれました。開催場所は桐蔭高校で、和歌山市内の高校9校、約40名が集まりました。今回は毎日新聞支局長の麻生幸次郎さんにお越しいただき、記者の仕事について話を聞いた後、各校の図書館での催し物や活動についての紹介をしました。桐蔭では普段のカウンター業務はもちろん、POP作りや古雑誌販売など毎年多くのことをしていますが、他校ではこれ以外にもとてもユニークな催し物が行われていました。そのなかでも私が特に気になったのは図書館でカフェを開くブックカフェというもので、いつか桐蔭でも行ってみたいと思いました。このように、今回も他校の取り組みを聞ける良い機会でした。

3年 津村

桐蔭高校で生徒図書充実委員会がありました。各校での図書館の行事報告や情報交換、秋に行う交流会についての話し合いなどが行われました。前半では毎日新聞和歌山支局長の麻生幸次郎さんに新聞記者の仕事について講演をしていただきました。記者の仕事といえば、「取材して記事を書く」ことだと思いませんか。もちろんそれは正解です。しかし、記事は読者に大きな影響を与えます。そのため、ただ書きたいことを記事にするのではなく、読者がどう思うかまで考慮しなければならないのです。これは日常で文章を書くことにも共通することだと思います。皆さんもぜひ、参考にしてみてください。

3年 中西

夏休み読書案内

いよいよ夏休みですね！この長期休暇を利用して、大長編に挑戦してみてもいいでしょうか？ ということで、私がお勧めするのはかの有名な『源氏物語』です。源氏物語は文豪たちにも愛読家が多く、たくさんの作家が現代語訳をしています。普段読書をしていない現代っ子の方は、瀬戸内寂聴のものが読みやすいでしょう。逆に、ものすごい読書家の方でも、谷崎潤一郎訳は読みにくいのではないかと思います。また、橋本治のもので源氏物語を光源氏の視点で小説化しているものもあります。ぜひ、自分の読みやすい作家で源氏物語を楽しんでください！

3年 橋本

私がオススメするのは、中田永一さんの『百瀬、こっちを向いて』という本です。恋愛小説で、四つの短編が収録されています。ちょっと恋のお話が読みたくなあって気分の時にオススメです。ただ恋のお話というだけでなく、オチがしっかり捻られていて、読後「あ～なるほど！」となる構成になっています。白地にブルーのタイトルのみというシンプルな装丁のせいか、貸出されることが少ないのですが、ソーダ水のように爽やかな恋愛小説で中高生には読んでもらいたい一冊です。

3年 堀内

よく晴れて澄んだ夏の夜に読みたくなる本をご紹介します。

『一千一秒物語』 稲垣足穂 著

この物語は、全部で70篇の短いお話から成ります。内容は現実離れしたファンタジーなものばかりで、そのどれもが共通して、煙草、月、流星などを題材にしています。

難しく考えず、ただ感覚に身を任せて読んでみて下さい。

この作品のうちの一つのお話を引用します。

「黒猫のしっぽを切った話」

ある晩 黒猫をつかまえて鋏でしっぽを切るとパチン！と黄いろい煙になってしまった 頭の上で キャッ！という声がした 窓をあけると 尾のないホーキ星が逃げて行くのが見えた

3年 西川

新着図書を紹介

小説

『君にさよならを言わない』 1・2 七月隆文 著

『未来』 湊かなえ 著

『友罪』 葉丸岳 著

『青空と逃げる』 辻村深月 著

『2.43清陰高校男子バレー部』 壁井ユカコ 著

『ログ・ホライズン』 11 橙乃ままれ 著

『東京バンドワゴン』 13・14 小路幸也 著

『チーム』 1・2 堂場瞬一 著

『凶犬の眼』 柚月裕子 著

自然科学

『スマホが学力を破壊する』 川島隆太 著

『動物はいつから眠るようになったのか』

大島靖美 著

『死を前にした人にあなたは何かができますか？』

小沢竹俊 著

『理系のための「実践英語力」習得法』

志村史夫 著

社会科学

『日本国勢図会2018/19』 矢野恒太記念会 編

『ルポ保育格差』 小林美希 著

その他

『ターシャ・テューダ最後のことば』

『なるほど世界地理』 宇田川勝司 著

『宝くじで1億円当たった人の末路』 鈴木信行 著

『ことだま 野球魂を熱くする名言集』

『限界の正体』 為末大 著